

# 林業福島

No. 552

題字 福島県知事 佐藤雄平



8

2010

かんしゅう ■ 福島県農林水産部  
表紙の写真 ■ 悪戦苦闘



# 林業・木材製造業労働災害防止協会 福島県支部長に選任されて

林材業労働災害防止協会  
福島県支部長 早川 英二

去る五月二十八日に行われた、第四六回の通常総会において、支部長に選任されました早川英二であります。何分不慣れではありませんが、会員皆様方のご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

今、雇用情勢が非常に厳しい中、新たな労働力が森林の環境整備にそそがれるようになりました。緑の雇用による就労や、建設業から林業事業に転換し就労する方々が多くなり、製材業より林業従事者の災害が非常に多いのが現状であります。

私ども協会といたしましても、新しい就労者の安全教育を徹底させ事故のない明るい職場づくりに努めて参る所存であります。

昨年度は、他産業では、死亡災害、死傷災害は減少している中で林業は二・七割増加するなど憂慮すべき事態となりました。

本年度は、労働災害防止規程の徹底、林材業リスクアセスメントの普及定着を図り、事業者、従事者が一体となり、日々細心の注意を払い本協会から事故を出さない様努力したいと思います。

災害は、本人はもとより職場、そして家庭にとっても大変不幸なことから労働災害の根絶を目指し、各種の労働災害防止に会員各位のご指導ご協力をお願い申し上げます。

## 《も く じ》

### とびら

林業・木材製造業労働災害防止協会  
福島県支部長に選任されて

- 林材業労働災害防止協会福島県支部長 早川 英二… 1
- 福島県治山林道研究発表会開かれる… 2
- 第37回福島県緑の少年団大会開催… 3～4
- 林業金融制度について… 5
- 緑の募金でふせごう地球温暖化… 6

### 山村を支える林道事業

- 森林基幹道 永井川前線… 7
- 森林文化シリーズ… 8
- 普及指導員通信… 9
- 木材市況・ふくしま東西南北… 10
- 福島水源林整備事務所だより… 11
- 木連だより… 12
- はなしのひろば… 13

# 福島県治山林道研究発表会開かれる

## 県林道整備課

第三三回福島県治山林道研究発表会が、去る七月二〇日(火)・二一日(水)の両日、福島市南中央の福島県土地改良会館大会議室で開催されました。

福島県治山林道研究会は、森林土木事業に関する技術の研究、情報交換と当該事業の円滑な推進に寄与することを目的として、県内の森林土木技術者を中心に組織したものであり、発表会は、会員の取組み事例の報告や意見交換を通じて技術力の向上を図るものです。会場には、県の治山・林道技術者を中心とした約一〇〇名が参加し、水戸県明林道整備課長の挨拶につき、一三課題の発表が行われました。発表の内訳は治山に関するものが六題、林道に関するものが七題であり、希少野生生物と林道事業、治山事業施工箇所における埋蔵文化財の調査など多様な



内容の発表が行われ活発な意見交換がありました(下表)。厳正な審査の結果、最優秀賞、優秀賞には以下の発表が選ばれました。

### ●最優秀賞

#### 治山部門

県南農林事務所 手代木徳弘  
「防風林造成事業「由井ヶ原」地区における森林整備について」

#### 林道部門

林道整備課 藤井 徹也  
「木材生チップを用いた植生基盤吹付工の試み」

### ●優秀賞

#### 治山部門

会津農林事務所 五十嵐正徳 東村真太郎  
「企業努力にみられるコンクリートの品質管理について」

#### 林道部門

いわき農林事務所 渋谷 純一  
「工事現場における現地発生材の利用について」

手代木さんの発表は、保安林の防風機能を維持しつつ行う森林の整備方法について調査したものであり、生活に密着した保安林における効果的な治山事業の実施が期待できるものでした。藤井さんの発表は、木材の使用量の拡大を図る観点から、木材生チップを

植生基盤材として実際の林道法面に施工し、その問題点を明らかにしたもので、現場においてすぐに活用できる発表でした。

五十嵐さん、東村さんの発表は、企業のコンクリート品質確保のための現場研修を丁寧にとめており、県内全域で参考となるものでした。

渋谷さんの発表は、林道工事における現地発生材をあらゆる視点から活用することで施工コストの削減を図っているものであり、他の現場においても参考となるものでした。

その他の発表も、日頃の業務に密接に結びつき、現場に活用できるものであり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、今年は、桑折町の半田山における福島県最初の治山事業着手から一〇〇年目の節目の年にあたることから、二一日の午後、福島大学理工学類の長橋准教授による「地質学からみた山地の自然史」についての講演が行われました。講演では、火山活動の影響を中心に、福島県の地質について丁寧な説明がなされ、山地の自然に直結した仕事を行っている治山・林道技術者にとつて興味深く、身近な内容でありました。

なお、最優秀賞に選ばれた二発表は全国の場合において、優秀賞に選ばれた二発表は東北北海道地区において、県の代表として発表されます。

番号	所属	氏名	区分	発表題名
1	会津農林事務所	新井田英幸○ 山河 周	林道	希少野生生物(モニタリング調査)と林道事業の実施
2	いわき農林事務所	平塚 真基○ 鈴木 智大	治山	復旧治山事業(餓鬼堂地区)における埋蔵文化財発掘調査について
3	県中農林事務所	鈴木 幸雄	林道	林道事業におけるコスト削減対策について～セメント系固化剤を利用した発生残土の有効利用～
4	いわき農林事務所	渋谷 純一	林道	工事現場における現地発生材の利用について
5	県南農林事務所	手代木徳弘	治山	防風林造成事業「由井ヶ原」地区における森林整備について
6	南会津農林事務所	山田 誠	治山	落石防護壁緩衝材の耐久性について
7	相双農林事務所	菅原 直樹	林道	林道橋点検調査のためのガイドラインについて
8	県北農林事務所	小野 武彦○ 坂本 敦史	林道	森林基幹道「大霊山線」の全体計画変更について
9	会津農林事務所	五十嵐正徳○ 東村真太郎	治山	企業努力にみられるコンクリート品質管理について
10	南会津農林事務所	藤原 浩幸	林道	南会津管内における路網整備について
11	林道整備課	藤井 徹也	林道	木材生チップを用いた植生基盤吹付工の試み
12	県北農林事務所	飯村 勝治	治山	桑折町の半田山復興100年を迎えて
13	治山対策課	平塚 透	治山	新たな災害対策事業の実施について(災害対策等緊急事業推進費)

# 第37回福島県緑の少年団大会開催!



大久田小学校緑の少年団の発表

第三七回福島県緑の少年団大会が八月二十七日、二十八日の二日間にわたり、猪苗代町で開催されました。天候にも恵まれ、県内二三団の団員達、約五〇〇名が参加し、開会式は猪苗代町総合体育館（通称カメリーナ）のメインアリーナで行われました。



山木屋小学校緑の少年団の発表



石田みどりの少年団の発表



高城小学校緑の少年団の発表

## 各少年団の発表

開会式では、主催者の福島県緑化推進委員会齋藤卓夫理事長より「この体験交流で、大いに思い出に残る経験をして下さい。」との挨拶があり、内堀雅雄副知事より「色々な体験を通じ、一段と成長して自分の可能性を伸ばして下さい。」と祝辞が述べられました。そして、津金要雄猪苗代町長により「勉強やスポーツに励むかたわら、少年団の活動に頑張る皆さんはとても素晴らしい。ぜひ、有意義で思い出に残る体験をして下さい。」とありました。

次に、五月に行われた活動実績発表大会で特選、準特選に選ばれた四団の発表、表彰も行われました。

- 特選（福島県知事賞）  
大久田小学校緑の少年団
- 準特選（福島県教育長賞）  
高城小学校緑の少年団
- 準特選（関東森林管理局長賞）  
山木屋小学校緑の少年団
- 準特選（福島県緑化推進委員長賞）  
石田みどりの少年団



ちかいのことばを述べる  
笠間くん 後藤さん



特選の大久田小学校緑の少年団



準特選の石田みどりの少年団



オリジナル作品完成！



使い方を教わって木工クラフト



もりの案内人のお話を真剣に。

各少年団は、自分達の活動内容を会場中に伝わるように、とても元気に大変分かりやすくハキハキと発表しました。

それぞれ個性が光る内容で、昨年の活動内容を今年度の活動に生かしたもののや、地域の人々との活動を広報誌にして発行したもの、間伐材でのストラップづくりや、卒業記念のダリアの花で染めたスカーフづくりなど、とても素晴らしい発表でした。

続いて表彰が行われ、猪苗代小学校緑の少年団代表の笠間大夢君と後藤夏奈さんにより「緑の少年団としての自覚と誇りを新たにし、緑に親しみ、緑を愛します」と決意を新たにちかいの言葉があり、開会式が終了しました。

その後、各少年団は、日帰り組、宿泊組に分かれて移動し、もりの案内人の方々の指導のもと、自然の中の体験交流に移りました。動植物をじかに見て、触れて、案内人の方からお話を聞き、森で生物たちはどの様に助け合いながら生きているのか学習しました。

そして宿泊組は、国立磐梯青少年交流の家にてゲームやキャンプファイヤをして交流を深め、楽しい時間をともに過ごしました。

二日目は、木工クラフトなどで体



良い思い出になりました

験交流が行われました。もりの案内人の方々から道具の使い方や緊張しつつ教わり、悪戦苦闘しながら自分だけのオリジナル作品を完成させました。苦勞して作った作品を見る度にきつと、体験交流のことを思い出すことでしょう。

最後に福島森林管理署の方の「もりのおはなし」を聞いて閉会式が行われ二日間の大会が無事終了しました。

普段の生活では味わえない、命あふれる大自然との交流を通じて緑の少年団の皆さんは、より一層、緑に親しみ、緑を愛する心を養い、森への思いが深まったと思います。

この大会に参加して、気持ちも新たに各少年団の活動が、より活発になることでしょう。

# 林業金融制度について

## ■県林業振興課

平成二二年度の林業関係の制度資金についてご紹介しますので、新たな部門への開始や設備投資を行う際は、資金を有効的に活用してください。

### ■林業・木材産業改善資金

#### ○資金の目的

林業や木材産業を経営する事業者が、林業経営や木材産業経営の改善、林業労働力に係る労働災害の防止などの目的や、新たな事業部門の経営の開始等の先駆的取組みを行うために必要な場合に利用できる無利子の融資制度です。

#### ○貸付を受けられる事業

下表のとおり

#### ○貸付対象

・貸付対象者

- (1) 林業従事者たる個人、団体、林業を行う会社
- (2) 木材産業に属する事業を営む者、団体

(※) 会社の場合、資本額一、〇〇〇万円以下

新たな林業部門の経営の開始	新たに素材生産やきのこ栽培などを開始するために必要な機械・施設を導入する場合
新たな木材産業部門の経営の開始	新たに集成材製造、プレカット加工などを開始するために必要な機械・施設を導入する場合
林産物の新たな生産方式の導入	生産性向上、品質向上などに役立つ林業生産機械や木材加工機械を新たに導入する場合
林産物の新たな販売方式の導入	売上高の向上などに役立つ販売用機械・施設（IT機器を含む）を導入する場合
林業労働に係る安全衛生施設の導入	防振装置付きチェーンソー、暖房装置付き人員輸送車等を導入する場合
林業労働に従事する者の福利厚生施設の導入	休憩室、更衣室、浴場、シャワー、トイレなどを付備した施設等を導入する場合

#### ・貸付限度額

- 個人 一、五〇〇万円
- 会社 三、〇〇〇万円
- 団体 五、〇〇〇万円

（ただし、木材製造業、木材卸売業、または木材市場業に係る事業を実施する場合は一億円まで貸付可能です。）

#### ・連帯保証人

貸付金額五〇万円未満

一人以上

貸付金額五〇万円以上

二人以上

貸付金額五〇〇万円以上

三人以上

### ■木材産業等高度化推進資金

#### ○資金の目的

木材の生産・流通を円滑にすることや、効率的・安定的な林業経営を育成することを目的にした制度資金です。

#### ○貸付が受けられる対象

- ・素材生産合理化資金
- ・立木や素材購入の代金、外材から国産材に転換する費用など
- ・製品流通合理化資金
- ・製材の購入代金、輸送費用など
- ・間伐等促進資金
- ・間伐等に係る素材生産を行う場合の資金など

#### ・構造改革促進資金

- ・新しい木材製品の製造等の資金
- ・チップ安定供給資金
- ・チップの安定供給に用する資金

- ・木材加工流通システム整備資金
- ・製材・加工用施設等の改良、造成、取得資金など

#### ・経営高度化促進資金

- ・立木・素材の購入代金、木材加工等に必要費用など

#### ・林業経営高度化推進資金

造林に必要な作業労賃等など

#### ○貸付対象者

造林・育林、素材生産、製材、木材卸売を行う組合、会社、個人で県知事から経営の合理化に関する計画（合理化計画）の認定を受けた方。

#### ○貸付利率

資金によって異なります。

（一・二割〜一・六割）

以上、林業制度資金として貸し付けられる制度です。

このような、林業制度資金をご利用いただき、経営規模拡大と安定的な経営にお役立ていただきますようご案内します。

※なお、詳細につきましては、最寄りの農林事務所、森林組合、木材協同組合等にお問い合わせください。

## 緑の募金でふせごう 地球温暖化 — 秋の「緑の募金」のお願い —

9月1日～10月31日までの2ヶ月間、国土緑化推進機構と協調して、「緑の募金でふせごう 地球温暖化」をスローガンに「秋の緑の募金」運動が展開されます。

過日、南会津町で、C.W. ニコルさんの「森に生きる、山に暮らす」とする講演会がありました。

カナダやエチオピアでの活動や様々な体験を通し培った、ものの考え方や生き方、そして美しい日本の森林や自然が荒廃していく様を見てきて、「アフアの森」として「百年後の美しい森林」づくりを進めている活動をユーモアあふれ、時には厳しい話をいただきました。

「最後にどうしても話したいことがあるので延長しても良いか」と前置きした上で次のような話をされました。

虐待やいじめに遭い、心にトラウマを持つ子供達が森林の中で遊び、活動する中で見せる表情の明るさ、伸びやかさ。樹木や森林に触れ、自然の中で過ごすことによって、心が解き放されていくこと。そしてそのすばらしさと大切さ。

緑を、森林を、自然を守り育てることは、人の心と身体を強く、そして優しい心を育ててくれることを、短いD.V.D.を映しながら話してくれました。

「山に樹を植えることは、人の心に樹を植えること」。

森づくりや緑化の推進は「人の心を育てることにつながっていく」ことを改めて、認識させられました。

今年の梅雨は例年になく活動的。県内のみならず全国各地、世界的規模で災害が多発しています。その災害を少しでも抑えるためにも、森林の整備やこの緑化運動を推進すべきと考えております。

「緑の募金でふせごう、地球温暖化」。「秋の緑の募金」に皆様方のご協力をお願いいたします。



## ～故郷の山で林業経営を 始めませんか～

### 林業経営新規参入者支援窓口

社団法人 福島県林業協会内  
〒960-8043 福島市中町5-18  
TEL 024-521-3245  
FAX 024-521-3246

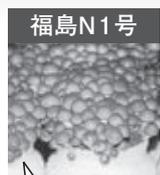
### \* 相談窓口のご案内 \*

定年退職などを機に故郷へ戻る方、新たに所有山林の経営・管理を始めたい方、そんな方々の林業へのスタートを支援する相談窓口が(社)福島県林業協会に設置されています。ぜひ、ご活用下さい。

やり方次第で、眠っていたあなたの山が宝の山になるかもしれません。

## きのこで地域を元気に (財)福島県きのこ振興センター

### ●菌床栽培用ナメコ(登録品種)



安定多収量

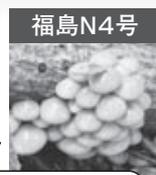


大型・滑り少

### ●原木栽培用ナメコ(登録品種)



コナラ原木で安定・多収量  
食物繊維、ペクチン様物質豊富

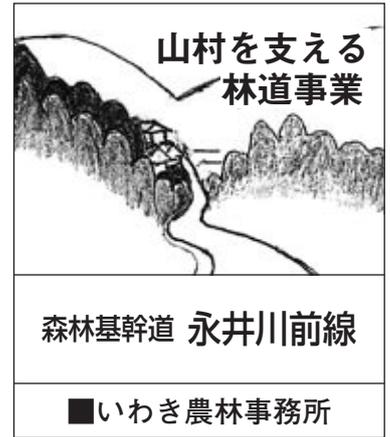


○その他各種種菌

○菌床 ・シイタケ  
・ハタケシメジ  
・ムラサキシメジ等

○マイタケホダ木 ○栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926  
E-mail:f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL:http://www.f-kinoko.org



○永井川前線の概要

林道永井川前線は、いわき市の北西部に位置し、車道幅員四・〇～五・〇㍎、計画延長七、四五〇㍎で、いわき市三和町下永井地区と川前町川前地区を結ぶ重要な基幹林道であり、山村地域の振興と定住環境の改善を図るため、平成一六年度から工事を実施しています。

起点(三和町側)は主要地方道小名浜小野線に接続し、これを介して三和町合戸地内で国道四九号線と磐越自動車道いわき三和ICに直結しています。終点(川前町側)は主要地方道小野四倉線に接続しており、夏井川及びJR磐越東線と平行しながら小野町及びいわき市中心市街と結ばれています。

沿線は、川前町と三和町に跨り、川前側は急峻な地形を成していること、民有林・国有林が混在すること、夏井川及びJR磐越東線を跨ぐなど地理的要因から南北を結ぶ道路はなく、また、既存の道路も地形の制約から降雨時の通行規制等がしかれる状況にあります。

○林道整備の目的

(一) 林業振興と適正な森林管理

林道事業の整備を行う周辺地域は豊富で優良な森林資源を抱えており、その多くは間伐時期を迎えています。川前地区は、鉄道を跨がなければ入山できないことなどから、十分な森林の施業に取り組めない状況です。しかし、当路線が整備されることにより、林業機械の活用促進による効率的な森林施業が可能となるとともに、川前地区夏井川以北の木材の運搬ルートとしても活用が期待でき、林業活動の活性化につながるものです。

また、利用区域内の森林は、小玉ダムの上流部に位置しており、いわき市の水道水源保護区域となっており、共に、三和地区においては小規模給水施設が整備され、宿集落及び作集落(給水戸数二二戸)の水源林となっています。

このため、林道を整備することで、間伐等を計画的に行い、森林の保安機能の向上及び水源林の適正な管理を図

るものです。

(二) 地域の産業振興

三和・川前両地域は阿武隈高原丘陵地帯の自然環境を生かした農業を営んでおり、これらの農作物の輸送は、夏井川に沿った県道等を利用してきますが、災害等による通行止めや通行規制等がしかれるため、地域住民は、これらの災害に強い道路の整備を切望しています。

また、川前町では「いわきの里鬼ヶ城」を核とした、豊かな自然を生かした観光に力を入れており、当林道が整備されることにより、農産物の輸送の改善や宿泊施設の利用促進が期待でき、川前町の活性化に弾みがつくものと期待されています。

(三) 災害時の迂回路としての役割

川前地区の重要な生活道である小野・四倉線は幅員が狭く、台風等の災害によりたびたび通行止めとなっており、また、川前地区から南へ出る唯一の川前停車場上三坂線も、幅員が狭く急勾配・急カーブ

で通行に支障があります。

このようなことから、川前地区にとっては、生活基盤の確保のため災害に強い道路の開設が強く望まれます。

○現在までの事業実施状況等

起点・三和側は、平成一六年度から森林居住環境整備事業で工事着手、終点・川前側は、同じく平成一六年度から第三期ふると林道緊急整備事業で工事に着手し、平成二二年度末現在三、五三八㍎が完成しています。

また、平成二二年度には三和側、下永井火沢から差塩字大沢までの一、六二〇㍎を開通させ、三和側の四、七二〇㍎が完成する予定です。

終点、川前側は、平成一九年度までにJR磐越東線のアンダーパスを含む四三八㍎が完成していますが、平成二一年度より第四期ふると林道緊急整備事業でその先線工事に入り、平成二二年度、橋梁を完成させる計画となっています。

○終わりに

林道永井川前線は、磐城平城最後の城主となった五代藩主安藤正信公が、戊辰戦争で落城し相馬に難を逃れる際、赤井嶽に登って燃えつつある平城を眺め、下永井から天領川前を経て川内村へ抜けたルートであり、今も川前の庄屋宅でお休みになったという話をよく聞くところです。

地元の方々、特に川前地区の人たちの思い入れのあるそのルートが、今般、林道永井川前線という形で再現することにになりました。平成二二年度以降については三和側と川前側の両方から、川前工区の残りの工事を実施し、早期の全線開通を目指すところです。



整備済み区間の利用状況



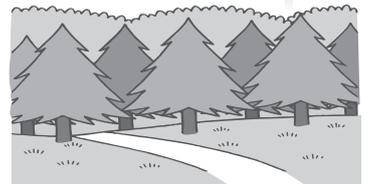
JR 磐越東線と林道終点

シリーズ

只見町の二次林

只見町ブナセンター

岩 永 晶 子



沢沿いのゼンマイ道を2時間ほど歩いた山中にあるブナの二次林。下草にはユキツバキが生えている。



っ実はだはち作春こはであち豊今こはたがえ生芽



山中の鉱山跡には精錬したときにできる屑(フキ)の捨て場が残っている。

初めて只見町を訪れたのは一二年前のことで、新潟県下田村(現、三条市)の飛倉沢から会越国境をまたいで、叶津川のフキ平へと下りました。七月の暑い日でしたが、鬱蒼としたブナの森にヒグラシが鳴き、溪流は夏の日差しを浴びてキラキラと輝いていました。ときどき、足元を岩魚がすーっと泳いでいきます。小滝のかかる上流には、わずかに雪渓が残り、タニウツギがピンク色の花びらを散らし、ウドの新芽

が顔をだしていました。夜はカジカガエルの合唱を予守唄に眠りました。二泊三日の山行でしたが、山の深さにすっかり魅了され、それから春夏秋冬通い続けて、今年四月から只見町ブナセンターの職員になりました。只見町は面積の九割が山林で、ブナを中心とした広葉樹林が広がっています。町のシンボルである浅草岳(一、五八六m)の山頂から見渡すと、川沿いにダムと集落があるだけで、ほとん

どが山林です。学術調査の結果からも、森を構成する動植物の種類が豊富で、遺伝子の多様性に富み、原生的な自然が残っているといわれています。ところで、ブナセンターでお客様と接していて「原生林」という言葉の使い方に悩みます。辞書を引くと「昔から現在まで一度も人手が加えられたことのない自然のままの森林」とあります。一方、ウィキペディアでは「ある程度昔から現在まで伐採や災害などによつて破壊されたことがなく、またほとんど人手が加えられたことのない自然のままの森林をさす。それらが一切無いものを原始林というが、それに準ずるもの」とあり、「実際には人手が一度も入らない場所などほとんど存在しないため」と説明が続きます。只見の山を歩いていると、山奥までブナの二次林があります。山中には鉱山やゼンマイ小屋、炭焼きの跡があり、いずれの作業にも燃料にブナが使われたそうです。二次林といっても美人林のような細い幹が密集した林ではなく、ゆつたりと健康的で生き物の気配にあふれた気持ちのよい林です。お客様のイメージしている手つかずの「原生林」ではありませんが、都市近郊の「里山」とは違います。人が手を加えても、元に戻るといふ印象なので

年生きる間にブナは四世代も更新するという話がありました。ブナは確実に世代交代するために、たくさんの戦略を持っているそうです。一本のブナの木に焦点をあてると、人が訪れて根を踏み固めただけで衰弱するデリケートな樹木ですが、時間を超えて森全体を眺めると、新陳代謝の活発なタフな樹木なのかもしれません。しかし、人工的に伐採して更新させるのはとても難しいそうです。ササ原にならずにきれいな二次林が育つには、炭焼きや放牧などで下草が茂らなかつた場合だと聞き、さっそく只見町の二次林について地元の人に聞いてみました。上手に天然更新する知恵があるのででしょうか。答えは「ブナは放っておけば生えてくる」でした。多雪や下草にササが生えないことなどが関係しているのでしょうか。さて、はじめの話題に戻りますが、只見町は面積の九割が山林です。昭和の中ごろまでは、山から建材や薪を切り、畑を開墾して、山菜や獣や魚を採って、山を糧に生活していました。とくにゼンマイ採りが盛んで、春は大勢の人々が山中の小屋に寝泊りしていました。お年寄りとの山の話をする時、懐かしそうに「山はいいなあ」と目を細めます。そうした山仕事がなくなくなり、若い人のほとんどは山に入った経験がありません。長い歴史のなかで今が一番、山に人の気配がないのだからと思えます。只見町のブナ林はたくましく更新していますが、山と共に生きてきた人々の文化は途絶えてしまっているようです。

## 郡山産木材「と・き・め・木里親事業」

■県中農林事務所

有志でスギの種から苗木を育成し、その苗木を山に植えて将来は地産地消・地域材として活用するという壮大な構想に取り組んでいる「と・き・め・木里親事業」事務局の佐藤さんからの指導要請を受け、林業研究センター渡邊専門研究員と連携し、6月2日に高篠山森林公園で実施されたイベントに参加しました。

当日、佐藤さんの呼びかけにより集まったのは、郡山市内の民間企業の方など18名。私の方から福島県の森林資源の現況や健全な森林を育成するために必要な施業と関連する造林補助制度などの施策概要及び森林環境税に関すること、渡邊専門研究員よりスギの分布やスギ種の生産方法などの基礎知識や育苗技術について皆様にお話ししました。

その後、渡邊専門研究員の指導のもと、参加者が実際にスギ苗木を育成するための作業が行われ、プランター（事務局で準備した特製のもの）に土を入れて表面を締め固め、スギの種を30～40粒程度蒔き、表面を覆う程度に覆土して、直射と乾燥を防止するために寒冷紗をつけて完成となりました。参加者の皆様がそれを各職場などに持ち帰り、苗木の育成を行うとのこと。どのような結果になるのか、ぜひ成功してほしいものです。

地産地消や環境に興味を持つ県民・企業も多いと思われ、そうした方々へどのように森林林業の役割などの情報発信をしていくのか、今後、工夫をしながら取り組んでいきたいと思えます。

（林業普及指導員 笠原 航）



作業の様子



完成した育苗プランター

## 「森づくり体験」を開催

■いわき農林事務所

いわき農林事務所では、いわき地方振興局と連携して、一般市民を対象に、森林の水源かん養、地球温暖化防止などの多様な機能について理解を深め、森林資源の循環利用や継続的な森林整備の重要性について学ぶことを目的に「田人の山・光あふれる森づくり事業」を実施しています。

この事業は年3回の開催で、1回目の「森づくり体験」は、6月6日（日）いわき市田人町旅人の民有林において、応募された市民23名が参加して開催しました。四時川上流の水源地に位置する伐採跡地において、地元の田人林業研究会の指導のもとスギ苗100本を植林しました。参加者は初めて使う唐鍬と慣れない作業に苦労し、山に木を植え育てることの大変さと重要さを体験しました。次にナラの短木ほど

木を用いて、ナメコ、ヒラタケの植菌と伏せ込み体験を行いました。ふだん食べているきのこができるまでの説明を受けながら、きのこを作ることが、簡単ではないことに驚いていました。

参加者は、心地よい汗を流しながら、植林ときこの植菌体験を通じて、人と森林のかかわり方や森林整備の重要性について学び、また山村地域の人々と交流を深めることができました。

今後は、10月中旬に第2回として今回植菌したほど木から採れたきのこ等を使った収穫祭とスギの間伐体験を計画しています。さらに11月上旬には、第3回として間伐木の利用（クリスマスツリーの設置）と交流会を開催する予定です。

（林業普及指導員 村上 宜己）



植林体験状況



短木ほど木の伏せ込み状況

# 木材市況

## 素材の価格〈工場着価格〉(6月15日現在)

(単位: m<sup>3</sup>当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	8(8~8)	0	9(9~9)	0	7(5~9)	0	8(5~9)	0
		10~13		並	スギ	11(9~12)	1	9(8~9)	0	9(7~11)	1	9(7~12)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	13(11~15)	1	11(11~12)	0	11(10~12)	0	12(10~15)	0
				並	ヒノキ	19(17~22)	0	(0~0)	-	17(15~18)	0	18(15~22)	0
		6.00	並	スギ	18(16~20)	△1	18(18~18)	0	15(15~16)	△1	17(15~20)	0	
			並	ヒノキ	24(24~24)	0	(0~0)	-	24(22~26)	0	24(22~26)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	14(12~19)	0	12(11~12)	0	11(11~12)	0	13(11~19)	0	
		4.00	並	アカマツ	11(8~12)	0	10(10~10)	0	11(10~12)	0	11(8~12)	0	
		1.80	並	アカマツ	7(5~9)	△1	(0~0)	-	8(7~9)	0	8(5~9)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	21(21~21)	*	(0~0)	-	24(24~25)	0	23(21~25)	△1
並				米マツ	25(23~28)	0	26(26~26)	0	26(25~27)	1	26(23~28)	1	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	-	(0~0)	-	23(20~25)	0	23(20~25)	0	
			並	ベニマツ	27(27~27)	0	22(22~22)	0	21(21~21)	0	23(21~27)	0	
南洋材		70~90	8~14	並	ラワン	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-
				並	アガチス	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-
パルプ用材	-	-	並	マツ	(0~0)	-	(0~0)	-	6(6~6)	0	6(6~6)	0	
			並	広葉樹	(0~0)	-	(0~0)	-	6(6~6)	0	6(6~6)	0	

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(7~8)	*	9(8~9)	0
	13~14		並	カラマツ	(7~8)	*	8(7~9)	0
	16以上		並	カラマツ	(0~0)	*	11(10~11)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、\*印は前月実績がなかったことを示す。  
 2. ( )内は各地域の価格幅、( )外は各地域の平均価格を示す。  
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。

五月の原木市場への入荷状況は、前月比で二四割減(前年比二六割増)の二一、四二六立方材となつては、前月比では二五割減(前年比三二割増)の二一、二六八立方材となつては、前年比では増加している。六月の価格については、保合である。



木の良さを実感できる「きなり」

疲れを感じさせない柔らかな色彩、安らぎを感じさせる天然素材の優しい感触、日々興奮状態にある神経を一つ一つ解きほぐしてくれるような透き通った香り、まさに木陰のゆりかごにでも揺られていようような心休まる空間、それが「きなり」である。顔の見える木材の家づくりをコンセプトに、製材所、建築士、大工、工務店が一体となった「ふくしま家づくりネットワーク」が造った「ふくしまで育った木をふんだんに使った無垢の家」で、今年三月、福島市にオープンした。

そのネーミングは、木の良さを実感できる「木也の家」と、本物の素材の良さを味わえる「生成りの家」を意味しているようだ。現在、建築されている木造住宅



### 見えてきた県産材の活用推進策

東北農林事務所森林林業部 林業課長

佐藤 秀樹

(二戸建て)における木材使用量は、一棟当たり二四立方材(〇・一八立方材/平方材)程度と言われ、外材を使用したものが多い。それに対し「きなり」は、五〇立方材(〇・四三立方材/平方材)で、福島で育った杉、檜、栗材などの地元材を使用している。「調湿作用はその気候風土で育った木が最も適している。」と菊池事務局長が話されていたが、確かに梅雨時期にもかかわらず、快適な空気を実感することができた。県内の人工林は今後、保育時期を越え、利用可能な森林が増えてくる。加えて、木材輸出国の自然保護や自国木材産業の保護等から、外材輸入量が年々減少し、建築材として地元で生産された木材への期待が増すものと思われる。

そのような状況において、「きなり」は、木が持つ本来の良さを余すことなく引き出した、人と環境に優しい住宅であり、県産材の利用促進に向けた一つの方向性を示していると感じた。

皆さん、ぜひ一度ご覧ください。  
**【場所】**福島市吉倉字吉田九一  
**【開館時間】**土曜・日曜  
 一〇〇〇〇〇一六〇〇〇  
**【問い合わせ先】**

ふくしま家づくりネットワーク事務局  
 TEL 〇二四一五五三一三〇六五

福島水源林整備事務所だより

## 作業道整備のための 路体強度の評価手法

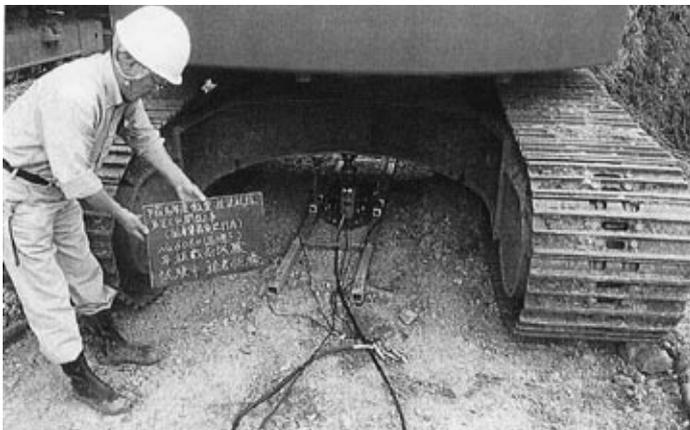
森林・林業再生プランを見ると「森林の整備や木材生産の効率化に必要な路網整備や森林施業の集約化を今後一〇年間を目途に進める。」とされています。そのためには、低コストで崩れにくい作業道等を主体とした路網作設技術の確立が急がれます。また、路網と林業機械を組み合わせた効率的な作業システムを構築、普及、定着させていくためにも、安全でしかも崩れにくい作業道の持つ意味は重要であります。

実際の作業道整備に当たっては、コストを抑制しつつ、トラクタや林業機械が安全に走行できるための強度や耐久性を確保することが重要であります。

最近、積極的に取り入れられている丸太組工法ですが、年月を経過した丸太組は腐朽が進むので、その路



一点載荷試験器 (土力計)



平板載荷試験器

肩部分の強度については、安全な車両の走行を考える上で特に注意が必要だと考えます。

(独) 森林総合研究所森林農地整備センター  
福島水源林整備事務所

しかしながら、作業道についての強度や耐久性を評価する手法は確立されていないので、関係機関が連携しながら、調査器具を用いた各種試験調査や実車走行試験調査等を積み重ね、相互に情報を交換、共有しながら検証していく必要があるものと考えます。

今回、森林農地整備センターで実施する試験方法は、作業道で使用できる簡易な試験器を用いることを前提として、道路の路床・路盤の支持力を測定して路体強度の評価を行うものとします。

使用器具は、林道の路側構造物の基礎地盤強度を測定するための簡易な載荷試験器である一点載荷試験器(土力計)としました。

これまで一点載荷試験器は「構造物の基礎地盤支持力」を調査する手法は示されていますが、「道路の路床・路盤の支持力」の調査に用いる手法は示されていません。

このため、一点載荷試験器が道路の路床・路盤の支持力にも使用できるかどうかを確認することとしました。

「道路の路床・路盤の支持力」の調査には平板載荷試験器が用いられますが、路肩部での試験が困難という欠点があります。そこで森林農地整備センターで実施している旧緑資源幹線林道の施工現場で、道路の路床・路盤箇所を一点載荷試験器と平板載荷試験器を近接箇所で行い、それら相互の試験データを比較し整合性を評価しながら、一点載荷試験器を用いる作業道における路体強度の評価をどのように行っていけばいいのかについて、検討することとしました。

これらの試験については一部着手いたしました。今後追加試験を行い、データを取りまとめた段階で結果を報告したいと考えています。

団体のページ

木連だより

やっていますか  
安全作業!!

～労働災害の現状と対策～

我が国経済は、緩やかに持ち直し傾向等々マスコミなどで報じられています。地方においては、雇用情勢の悪化など厳しい情勢が続いております。このような状況下において、昨年一二月に公表された「森林・林業再生プラン」では、「コンクリート社会から木の社会」への転換、一〇年後の木材自給率五〇％以上を目指す。路網の整備、森林施業の集約化、必要な人材の育成を軸とした、地域における雇用改善の一環とした農林業への就業促進が図られています。

しかし、林業は、気象条件、地形、植生等が作業現場ごとに異なり、多様な作業環境、作業状況により、作業方法、使用機械、機具、作業手順等々、自ら判断し対応できる高度な技術、技能が要求されますが、未経験の新規就労者の採用による労働災害の増加も懸念されます。全国の労働災害発生を見ると、林業・木材製造業共に長期的には減少



林業労災防止協会福島県支部

傾向にあります。林業における労働災害休業四日以上、死亡災害は、一、九〇七人、死亡災害は四三二人、木材製造業における休業四日以上、死亡災害は、一、五二八人、死亡災害は九人で、これを年千人率でみると、林業は、全産業の一・二倍、木製

品製造業では、一・二倍、特に、林業においては著しく高い状況にあり、依然として同種、同類の災害が繰り返されています。最近の林業における災害傾向を見ると、新規就労者に多く発生する、「危ないことを危ないと知らないで起こす災害」と、「ベテラン熟練者が起こす災害」の発生率が同じになっています。

これは、ベテラン熟練者が豊富な経験の中から「この位大丈夫」、「仕事に対する慣れ」や「禁止事項の無視」、「作業手順の省略」等による災害が多く発生しています。

第一次災害防止計画では、林業は、災害多発業種に指定されました。依然として厳しい状況にある林業界から災害の未然防止を図るた

めに、事業者及び労働者の労働安全衛生意識の高揚、作業手順遵守の励行、労働安全教育の充実、安全な作業機械の開発など労働災害防止対策の推進強化に積極的に取り組む必要があります。

特に災害の未然に有効と言われる「林業リスクアセスメントの普及定着」、各種規則や通達による安全作業指針等の周知と励行のための「労働関係法令定着促進」と、「林業労働災害防止規定の周知」等について、個別導入指導や集合指導等を展開し、林業から災害を無くすために、あらゆる機会をとらえて実施することとしておりますので、皆さんのご協力ご指導をよろしくお願いたします。



労働災害防止対策のための研修会



労働安全についての討議



安全作業についての研修



## 熱中症と降ひょう

真夏日が続く八月の市街地は街路樹もバテ気味で、道行く人にも疲労感が感じ取れる。八月は花の少ない季節だが、盆帰省で訪れた古里には、サルスベリやキキョウ等が咲き乱れ、古里を訪れた人達を歓迎する応援団の役割を演じてくれていて微笑ましい。

ところで、今年の七月は熱中症で死者も出ているが、須賀川市では降ひょうにより、三億三千万円の被害が出ている。調査が進むにつれ損害額がさらに増えるかも知れない。被害を受けたのは岩瀬キュウリとリンゴ、ナシ、モモなどの果樹類で、キュウリは出荷の最盛期であり、ナシ以外の果樹も出荷直前とあつて、農家の悲鳴が聞こえてくる。

同じ地球上に豪雨や高温、降ひょうなど多量の災害が頻発し、災害発生都度の、地球温暖化対策が検討されるが、国益優先などもあつて、残念ながら先が見える状況にはない。

七月に郡山の駅前地区が一度にわたり水害に見舞われた。その模様をNHKが放送したため、東京の親戚等からたくさんの方の見舞いを頂いた。テレビに写し出される現場は目を背けたくなる様な悲惨さから、我が街の出来事でない事を神に祈った。郡山市では『緑と水の輝く未来都市郡山』を目指して施策を進めているが、防災対策の強化・推進を痛感した。

今日の日本は五〇％程度の雨が数時間続くと住宅が浸水し、山地に崩壊等が起こる。この現象は昭和三〇年代以降の急激な都市化から水田が宅地になり、ダムの役割を果たしたて来た水田が無くなった事が原因といわれ、街づくりには科学的裏打ちが要求される。

森林も林家の林業離れにより荒廃が進み、大雨で山が崩れ、尊い人命が失われている。

本県では森林環境税を活用して間伐を進めた結果、元気を取り戻した森林があるが、目の届かない地域の間伐推進が緊急の課題となっている。幸い、過日開催された森林審議会が次年度以降も森林環境税の継続を県に答申したので、県民のご理解をぜひお願いする。

近年、人工林に入ると、県民参加による森林づくりの兆しを感じる。この兆しを顕在化し、定着させるためにソフト事業の積極的な展開を進めるよう提案したい。 佐藤微風

## 表紙の横顔



### 悪戦苦闘

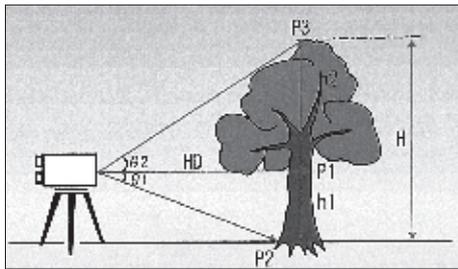
第6回ふくしま森林・林業写真コンクールで優秀賞を受賞した佐藤源策さん(郡山市)の作品。

### 編集

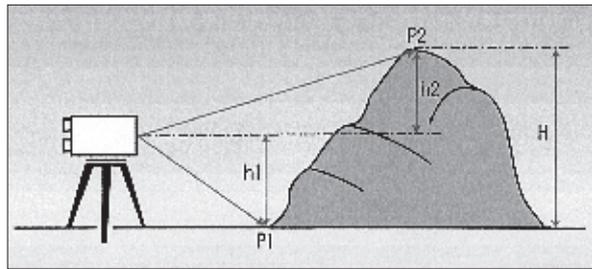
福島県内四森林管理署  
福島県林業協会  
福島県森林組合連合会  
福島県木材協同組合連合会  
福島県緑化推進委員会  
福島県農林種苗農業協同組合  
福島県林業公社  
森林総合研究所福島水源林整備事務所  
福島県林業協会  
(福島市中町五番一八号県林業会館内)  
発行 渡辺卓  
発行人 陽光社印刷株式会社  
(定価 六三円)

## 高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合



2. 堆積物等の山なり形状の場合



### 【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	±5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定法	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



# LDM-20

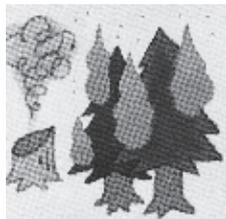
レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

# 備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



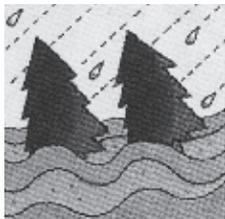
## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



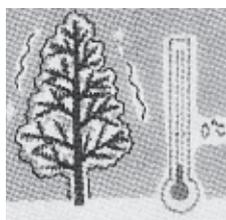
## 4 雪害

大量積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《ご相談・お申し込みは》

◆森林組合

◆森林組合連合会

福島県農林水産部森林整備課

☎ 024-521-7430

イワフジのプロセッサ

# GP-35V プロセッサ

**IWAFUJI**  
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を迫及したプロセッサ



Simple Processor  
MODEL : GP-35V



- 高耐久性を迫及したフレームとトンク
- 大容量ソーモータの採用による優れた切断力
- カッタ押し付けはシンプルなスプリング式
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラブ作業
- 高速コンピュータ GP-7 による精度の高い安定した測尺
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク

ランニングコストに優れたシンプルプロセッサ

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・グラブシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・ラジキャリーシリーズ



**イワフジ工業株式会社**

北関東支店 〒969-1149 福島県本宮市本宮万世11-7  
TEL 0243-34-5440 FAX 0243-34-5442

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!  
詳しくは当社ホームページをご覧ください [www.iwafuji.co.jp](http://www.iwafuji.co.jp)

Yashima  
豊かな緑を次代へ

# 自然との調和

私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。  
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

### 野生獣類から大切な 植樹木を守る

ツリーセーブ  
ヤシマレント

### 盗みされ防止

ハチノックL(網隠し)  
ハチノックS(携帯用)

### 大切な日本の松を守る ヤシマの林業薬剤

ヤシマスマイバイン乳剤  
ヤシマスマイバインMC  
グリーンガードエイト  
パークサイドF  
ヤシマNCS  
モリエートSC  
マツグリーン液剤2

### くん蒸用生分解性シート

ちゅらシート(茶・白)  
NCSシート(透明)  
与作シート(茶・白)  
(折りたたみ式  
専用キャリアバック使用)



ヤシマ産業株式会社

本社 〒104-0045 東京都中央区築地1丁目9-6 アロア築地ビル2F  
東北営業所 〒981-3133 仙台市泉区泉中央3-10-3-202

TEL.03-5565-3161(代) FAX.03-5565-3164  
TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

## 機器はゼノアから

排気量 **18.3cm<sup>3</sup>**

世界最小・最軽量、2.2kgの手のひらサイズ



**G2000T** EZ-START  
20cm(8インチ)・SP ¥66,675(税込)  
20cm(8インチ)・CV ¥72,765(税込)

排気量 **40.1cm<sup>3</sup>**

さまざまな用途に対応、本格プロ仕様シリーズ



**G4211EZ** EZ-START  
40cm(16インチ)・SP ¥135,660(税込)  
45cm(18インチ)・SP ¥137,865(税込)  
40cm(16インチ)・H ¥135,660(税込)  
45cm(18インチ)・H ¥137,865(税込)

使いやすさを  
追求したハンドルと  
思いのアクセルワークが  
可能なトリガーレバー。



**BC2711DW1-EZ**  
・防振ハンドルブラケット  
・トリガーレバータイプ  
チップソー ¥79,380(税込)  
笹刈刃 ¥78,330(税込)

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店  
**(有)うねめ林業機械**

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1